

## 【USAGI 通信 傑作選】 Vol.12 供給連鎖の再定義：ブロック玩具のように繋がる商流

※この文書は、会員向けに週一回発行しているコラムの中で、特に評価の高かったものを抜粋し、一般公開しているものです。

### はじめに

サプライチェーン（供給連鎖）の構築において、多くの企業が直面するのが「システムの分断」という壁です。注文を受けた商品をそのまま仕入先に発注したい。そんな当たり前の要望が、実は最も難しい課題となっています。

### 「売」と「買」の二刀流、その真価

USAGI が提唱する「販売」と「購入」の二刀流（会員限定 USAGI 通信 Vol.4）は、単なる機能の重複ではありません。その本質は、**子供の頃に遊んだブロック玩具のように、凹凸を組み合わせて自由に形を作れる構造**にあります。

既存のシステムの多くは、他と繋がることのない「平らなパーツ」のようなものです。社内では完結しても、他社と繋がろうとした瞬間に規格の壁に突き当たります。しかし、USAGI は最初から「売」と「買」がカチッとハマるように設計されています。この「凹凸」があるからこそ、複雑なサプライチェーンの構築が驚くほど容易になるのです。

### 「目詰まり」を解消し、大動脈を作る

システムが分断されていること自体が、情報の「目詰まり」を引き起こし、商流の熱量を奪っています。USAGI で「売」と「買」を直結させることは、単なる作業の自動化ではありません。それは、現場の知見を淀みなく循環させるための「大動脈」を作ることです。

「売→買→売→買……」が柔軟に接続・連携できる USAGI だからこそ、1（ONE）システムで真の流通網が構築できます。

### バリューチェーンへの昇華

この「売」と「買」の対称性こそが、分散していた商流のエネルギーを一つのベクトルへ統合します。データが単なる「記録」から、次のアクションを誘発する「シグナル」へと変わる瞬間。それは、単なる効率化の域を超え、サプライチェーンそのものが自律的な知能を持ち始めることを意味しています。

情報の断絶を排し、誰もが価値創造に専念できる「止まらない供給網」へ。

USAGI が提供するものは、そのための最もシンプルで、かつ強固な「ブロック」です。

御社の商流に、新しいスタンダードを取り入れてみませんか。